

インド独立五十周年
関西日印文化協会

創立四十周年記念の集い

関西日印文化協会（桑原泰業会長）では、十月十一日、掲記の集いを兵庫県民会館大ホールで開催いたしました。

プログラムは、名城大学教授で同協会理事である森本達雄氏の講演、「マハトマ・ガンジー その今日的意義」と、インド政府より派遣された南インドの古典舞踊家モヒニアッタムのダンサー、カラ・ガラシャムさんの珍しいインド舞踊でした。

当日の来賓の荒川克郎（神戸新聞社会長）、大橋良三（日本画家）、山口恵照（大阪大学名誉教授）、小坂田肇（兵庫県国際交流協会専務理事）、岩崎拓治（兵庫県文化協会理事長）各氏、インド総領事館からヴシュワジット副領事など約二百名が参加し、会を盛り上げていました。

ある集い■関西日印文化協会



桑原泰業会長

カラ・ガラシャム嬢





これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

表紙／「リュートを持つ男」小磯良平（小磯記念美術館蔵）
セカンドカバー／「無題」中山岩太
目次＆ウラ話「ヴィダル・サスーンと家出少女」鶴本昭三

- 12 神戸っ子'97／吉田泰巳 西垣千賀子
- 14 神戸のお姫さん／小林祐子 國光靖子
- 16 ある集い／関西日印文化協会
- 25 ボエム・ド・コウペ／「冬の陽」由良佐知子 絵＝石阪春生
- 27 私の意見／「神戸の1年を振り返って」加藤謙
- 30 連載エッセイ／酔眼流旅日記「紅テント九州篇（1）」
　　村松友視 絵＝灘本唯人
- 32 神戸風月堂百周年インタビュー
　　「お客様、社会とのつながりを大切に」下村俊子
- 34 シンポジウム／「異人館は人々の記憶を保存すべき街」
- 38 特集／よみがえった神戸を歩く
 - ①北野……「2本のストリート」宮本豊子
 - ②旧居留地……「第2章の風ひかる」玉岡かおる
 - ③トアロード…「粹でいなせは健在」MeMe（金純）
 - ④夜の三宮……「神戸ほろよい歩き」福元早夫
- 46 話題の広場／第21回井植文化賞表彰式 米田定蔵写真展
　　阪神淡路百名所づくり表彰式 高橋孟さんを偲ぶ会
- 50 TOR ROADまちづくり／トアロードフェスタ
- 56 神戸っ子通信
- 52 Oh!タカラヅカ／「ダル・レークの恋」
　　酒井澄夫 麻路さき 星奈優里
- 70 山下みか子のTASTYゴルフ／「ダンロップゴルフコース」
- 71 亀井一成のズーム in ZOO／「ジウとホッキョクグマ」
- 76 有馬歳時記／「来春、秀吉の湯殿を一般公開」
- 82 イベントガイド＆チケットプレゼント／「もだかる」
- 74 ふたたびプロフェッサーPの研究室／岡田淳
- 78 神戸を福祉の街に／「愛の手フェスタ親子で遊ぼう」橋本明
- 80 世界のこんな美術館／「ワシントン・ナショナルギャラリー」伊藤誠
- 84 シネマ試写室／「プラス！」淀川長治
- 86 神戸百店会だより
- 88 びっといん
- 90 ポケットジャーナル
- 93 K F Sニュース／「薄のおはなし」
- 94 ルボ／神戸の工房をめぐる「中国服と帽子の職人たち」福元早夫
- 98 短篇小説／「アシナガバチ」木村光理
- 102 神戸っ子俱楽部
- 114 海 船 港／「植えて拌んで歩いて最高！」かどもとみのる
- 116 北野ホットニュース／「異人館レストラン・グラシアニ邸」

カメラ／米田定蔵・池田年夫・松原卓也
森田篤志・森田聰三・米田英男

ヴィダル・サスーンと家出少女

ぼくは『芸術とは、ひとを驚かせることである』という本を出版したことがある。芸術とはお稽古ごとのように基礎をひとつひとつ積み上げなければならないとは決まっている。ちょうど富士山の頂上に至るには様々な道があるのと同じように、頂上に辿りつくにはいろいろな道がある。ぼくは、どちらかというと芸術とは楽しんで楽しんでおもしろくてたまらないと思いながら制作や発表をするうちに、いつの間にか富士山の頂上に達しているという方法をすすめている。この主旨にそって様々な視点により書き、日本人が絵を学ぶためのきまりきったアカデミズムとは全く別の手段について例をあげながら書き上げた本である。この本は従って伝統的にしかものを見られない美術関係者からいろいろ批判されたりもしているが、その代わりこの本をおもしろいと感じてくれる人はメチャクチャのファンになってくれる。

薄井宏子さんという女性がいた。彼女は関東の茨城県に住んでいる。彼女は将来アーティストを夢みて美

術大学を受けるべく、近くの画塾に通っていた。その画塾の先生はぼくの考えとは全く逆で、絵というものはとても難解なもので苦勞に苦勞を重ねなければならないというアカデミックな考え方の教師であったらしい。

来る日も来る日も訓練ばかりで、宏子さんは絵の夢がすっかりこわれて芸大の入試にも失敗し失意の絶頂にあった。このようなときに茨城県の図書館で、僕の本を見て「こりやおもしろい」とすっかり有頂天になってぼくに手紙をくれ、そして訪ねて来た。見ると素晴らしい美人だ。そして話してみると型にこだわることなく美術の本質をしっかり捉えている。彼女とぼくはとても気があつて、ぼくのところで絵を学びながら手伝ってもらおうということになった。ぼくは両親に喜んでもらえると思って電話した。

ところが、ぼくはオウムの教祖が入会者を帰さないのと同じような誘拐者と思われ、鬼のように言われた。母親とは実に不思議な存在である。わが娘の幸せを願っているはずであ

るのに、娘の最も嫌がっている人生を歩ませようとする。かくて、宏子さんは茨城県に帰らずに家出の状態で、ぼくが近所の女性専門のアパートを見つけて、そこに籠城することになった。ぼくの弟子のひとりに美容の世界で名を馳せた女性がいる。彼女はヴィダル・サスーンのモデルを募集していたので、宏子さんが応募したところ、美しい彼女はすぐに選ばれた。サスーンの髪をカットしてもらうには3ヶ月待たされ、5万円のカット代を支払わなければならぬが、彼女はすべて無料という幸運で選ばれたのである。

写真はその途中のひとこま。彼女は今、7色に染められた頭でせっせと絵を研鑽している。

茨城県の両親もぼくがオウム教のような人でなかったことが分かってくれて、協力してくれ一緒に彼女の成長を見守ってくれるようになった。ぼくは今頭を7色に染めた彼女が素晴らしい構想で制作の毎日を送っているのに目を細めて彼女を見つめている。

美と 健康 自然×自然 ナチュラルブティックに エバメール登場



左から本誌編集長、本城ご夫妻、
お客様、榎さん



六甲山系の山並みをのぞむ新神戸の地に、自然派志向ブティック、ル・スタイル「イスイ」をオープンさせた本城ご夫婦に、「バーム・キャンディ」のマスター榎さん、本誌編集長・小泉を交え、「エバメール」の効果を実感!

エバメール化粧品は「生体エネルギー」に注目しています。水が遺伝子のように情報を伝達することができるのです。例えば農作物ではナスの木にトマトの実をつけると情報を送ると本当にトマトの

実がなる。エバメールでは「美しくなれ」という情報を水に流して化粧品に使用しています。

本城 うちの店では洋服を見に来ていた

本城 だいたお客様に「息ついていたところと、喫茶コーナーを設けています。そこで使用する水にはやはり気を使います

ね。土地柄、六甲の水を使っています。榎 うちも「水商売」ですからね(笑)。

震災以後、特に水は大切に扱っています。お酒も料理も水が美味しいなどどうし

ようもないですから。

小泉 水は全ての生命体に直接関係するものです。飲食物だけでなく、着物や化粧品にも「いい水」を使うことが、真的

健康につながるのかも知れません。

*

■エバメール化粧品ワンポイントレッスン

洗顔 ……まず、洗顔パウダーを水で溶きます。固すぎても柔らかすぎてもいけません。適度なねばりけを残す程度に練つてください。それを顔にまんべんなくのばして洗います。すべりが悪くなつたら水を少し加えてください。よくすすいで2度洗い。ゲル状になつた洗顔料が顔に密着して汚れを吸い出します。ご使用いただくうちに肌のキメが整い、白くなついくのがお分かりいただけます。

原点は水



■お問い合わせは
(株) ヘルスパワージャパン
〒661 兵庫県尼崎市高田町4番17号
TEL. (06) 492-6319
FAX. (06) 493-2812



ホワイトニングパウダー 4500円(150g)
(後) 左から2つ目
ソフトシャンプー 1350円(500ml)
(後) 右から2つ目
ガルクリーム 1800円(70g・携帯)
(前) 右端
(800g・ボンボン式)
ガルクリーム 1300円(後)
左から3つ目

本城 勉
ル・スタイル「イスイ」オーナー
榎 晴夫
ル・スタイル「イスイ」
本城 浩美
ル・スタイル「イスイ」代表取締役
小泉 美喜子
（有）月刊神戸 つ子取締役編集長

★日本初の民間レスキュー組織



小室 豊允さん



打間奈津子さん

小室 打間さんは震災後も、いろいろ活躍されていますが、日本初の民間レスキュー組織「日本レスキュー協会」を設立、会長を務めています。この協会では、災害救助犬の養成に力を入れていることが有名ですね。

打間 震災後、スイスから派遣された災害救助犬の姿を見たりして、私たちにも同じようなことが出来ないかと思い立ったのです。専用トレーニングセンターを設けて訓練し、現在では協会に12頭、登録というかたちで18頭、計30頭のラブラドール・レトリバーが災害救助犬になっています。すでに、メキシコやペルーの震災、長野県や鹿児島の土砂崩れ災害現場などで活躍をあげています。

また最近では日頃の「セラピードッグ」としても活動。老人ホームなど訪問すると、お年寄りの方々の心が、ワンちゃんとの触れ合いによつてほぐれてゆくんですよ。

★ミュージックアベニューもオープン

● 小室豊允の『夢対談』
“新世紀を語る”

打間奈津子 （株）カルチャービジネス代表
小室 豊允 （株）カルチャービジネス代表
（経済情報学部長）

しなやかな女性の感性で 神戸復興は

小室 打間さんは『北野町の仕掛け人』などと呼ばれるように、公開異人館の経営などを通じ、北野町を観光スポットとして育ててこられました。

今日おじやましているミュージックアベニューは、いつオープンなさつたんですか。

打間

今年の7月にオープンしました。神戸は、日本のジャズ発祥の地もあり、音楽と関わりの深い街なので、音楽をテーマにしたスペースを設けたかったです。

小室

プレスリー・や・ビートルズのLPジャケットなどがディスプレイされて、素敵な雰囲気ですね。

打間

ラジオ関西で活躍されている、友人の今崎陽吉さんのコレクションです。最近のレトロブームもあって、若い人にも好評です。また、神戸らしく外国人との交流があつたらいいなと考えて、黒人



対談中の打間さんと小室さん。ミュージックアベニューで

バンドの生演奏も入れています。喫茶もありますが、演奏を聴いていたくのは無料です。震災後の神戸の暗いイメージを払拭したいという願いもあって採算度外視ではじめましたが、お陰様で順調に滑り出しています。

小室

明日の神戸を担う女性起業家

小室 ブライダル事業にも力を入れていらっしゃるそうですが。

打間

先日「シンプルウエディング」という本も出しました。これはシンプルで自然体な、近頃の新しい結婚のかたちについて書いてあります。

私が北野町でブライダル事業をはじめたのは、20年前。

『盗み聞きの事業』なんて言っているんですねが、異人館を訪れる方が「こんなところで結婚式したいわ」とおっしゃつ

ていたのを聞いたのがきっかけです。当時はまだどなたも、

北野町でブライダル事業なんてされてませんでしたが、この

20年間で、北野町はブライダル・ゾーンと呼ばれるほどになりました。特に震災後、ブライダル関連各社が共存共榮という感じで、北野町に新しい活気が生まれている気がします。

小室

打間さんはブライダルをはじめ多くの事業を手がけられていますが、最近打間さんのような女性アントレプレナー(起業家)が元気ですね。特に震災後そうだと思うんですが。

打間 戦後とか、震災後とか、歴史的にみても何かと困難な時ほど、女性は元気になるようです。やはり女性は強いんでしょうか。

近頃は各団体や行政が女性起業家を応援するケースも増えていますが、アメリカなどに比べると日本はまだまだ。私自身も、30年ほど事業に携わってきた経験を活かして、今後はもっと若い人を伸ばしてあげたいなと考えています。

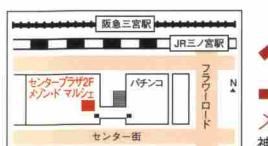
小室 これからは、モノをつくって売ることで稼ぐのではなく、感性を売ることで稼ぐ時代。そういうと、男性より感性に優れた女性は有利、活躍の場がますます増えます。

打間

復興神戸を担う意味でも、早く新たな女性パワーが育つてほしいですね。



何をあげようか。
そんな季節の到来。
迷ったらそのままGiftの
ファンタジーランドへ。
ようこそ、私のアリスたち。



センタープラザ東館2F エレベーター前
年内無休

♥「神戸っ子で見ました」とおっしゃって頂ければ粗品を進呈致します。



メゾン・ド マルシェ

神戸市中央区三宮町1丁目9番1-216号

TEL.078-393-1119

営業時間 11:00~19:00

年内無休



写真左から
「海の香り」、「異人館の香り」、「風の香り」各8本入り(香立付)800円

海の香り

マリンノートにホワイトフローラルをブレンド、
爽やかな海風に船の汽笛、潮風の音まで伝えます…

異人館の香り

しっとりと落ち着いたシブレーノートは、
ちょっぴり懐かしい神戸ロマンの香りがします…

風の香り

すがすがしい緑の草原にやわらかな陽射し、
グリーンノートの香りが六甲の自然の“風”を運びます…



日用雑貨卸商社
友誠商事株式会社

〒654-01神戸市須磨区弥栄台1-4-5神戸流通センター

TEL.078-792-2000(代)・794-5454 FAX.078-791-5555

素敵な仲間たちへ
元町ケーキからの贈り物



※デザインが異なる場合がございますのでご了承下さい。

12月1日(月)～16日(火)まで
クリスマスケーキのご予約受承っております。

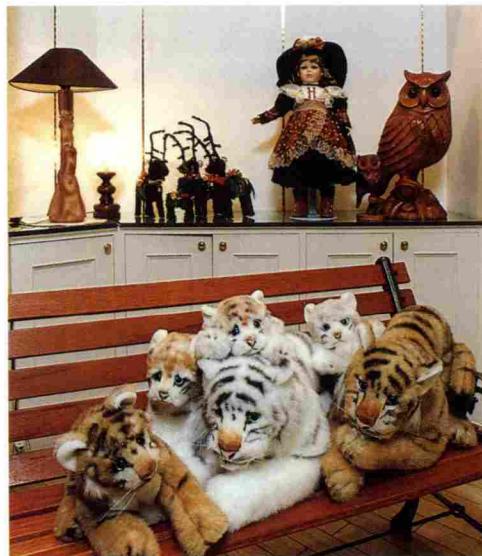
サイズ	直径	目安	価格(税別)
5号	15cm	4～5人位	¥ 2,000
6号	17cm	6～8人位	¥ 3,000
7号	20cm	8～12人位	¥ 4,000
8号	23cm	12～14人位	¥ 6,000
9号	27cm	18人位	¥ 8,000
10号	30cm	26人位	¥ 10,000



ママのえらんだ
元町ケーキ

元町本店／神戸市中央区元町通5-5-1
TEL.078-341-6983 FAX.078-341-8178

フリーダイヤル 0120-226983
定休日／毎水曜日



リモージュ(仏)の陶器コレクションをはじめ、伊・独・米のデザイナーズブランドを多数取り揃えております。おしゃれなインテリア小物はいかがですか。

タイガー(高級手染品) ¥5,500～¥65,000
ビスクドール アンナ ¥25,000
トナカイ(大) ¥ 2,800
トナカイ(小) ¥ 1,500

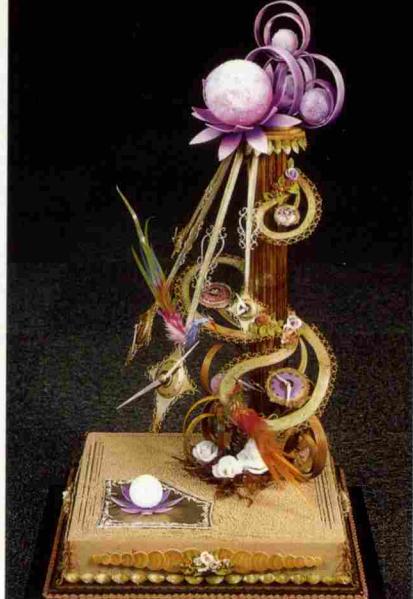
KOBE
ポートピアホテル2F
ワールドインテリア
TEL.078(302) 1288



第4回洋菓子コンテスト大会で東京都知事賞を受賞



この重量感は、洋菓子とは思えない



農林水産大臣賞を受賞した「モダンクラシック計」



4大洋菓子コンテストで、11部門25名が優勝



第39回クリスマスケーキコンテスト受賞者。写真左からクリスマスの部優勝・山田美和さん、実技の部Aクラス優勝・佐竹達也さん、Bクラス優勝・宮里晴美さん


EDELWEISS
 SCHWEIZ-KONDITOREI
株式会社 エーデルワイス

本社 神戸市中央区中山手通1丁目22-13

TEL.078-242-0656

ヨーロッパ的な発想が洋菓子アートの源

株式会社エーデルワイス 比屋根毅社長



比屋根毅社長

今秋、東京、大阪などで行われた4大洋菓子コンテストで、11部門25名が優勝、入賞した。数あるコンテストで上位を占めたエーデルワイス勢、その強さの秘訣はどこにあるのだろう。

九月二十八日、西日本洋菓子コンテストが、大阪市内で行われた。今年で、三八回目を迎える伝統ある大会で、栄えある厚生大臣賞にエーデルワイスの山本和秀さんが、農林水産大臣賞は比屋根和彦さんに輝いた。

さらに、十月二八日に行われた「クリスマスケーキ・コンテスト」でも、ハイレベルな兵庫県のライバルたちを押さえて、県知事賞を二名が受賞した。ケーキの出来栄えを競う「クリスマスの部」には山田美和さんが、規定時間内にケーキを仕上げる「実技の部」には佐竹達也さん、宮里晴美さんの二名が選ばれた。

エーデルワイス比屋根毅社長自らも、近畿洋菓子コンテスト(現西日本洋菓子テスト)で十連覇した経歴をもつ筋金入りのマイスター(職人)。

「日本にいるとせわしくて、ゆっくりできません。そんなときに機械化の時代にあえて立ち止まって、ほつとひと息つける時間をつくります。私は必ず年に一、二度、ヨーロッパへ行くよう

にしています。はじめは、日本の習慣から抜け切れませんが、徐々にヨーロッパの習慣に感化されます。すると物事を広く考えられるようになります。ヨーロッパ的な発想をやしなうことができるのです。

スタッフもスイス、ベルギー、ドイツへ派遣し、本場の雰囲気を肌で感じて来させます。美術館へ行ったり、人と話したり、実際生活することが、洋菓子作りのヒントになります。

修行して帰つて来た者は、後輩たちにその技術を教え、また、後輩たちも、優秀な先輩たちに追いつこうと技術を磨きます。その結果がコンテストに勝ち、エーデルワイスの伝統になります。

比屋根社長のお言葉通り、入賞作品は斬新なデザインと色使いによって、力強さを感じる。パステージュや飴細工は、洋菓子の素材を最大限に生かした究極の作品に仕上がっている。農林水産省を受賞した“モダンクラシック計”は、宇宙の営みを表現している。時計の針にはフェニックスが羽根を休めている。同賞を争ったナイトを形どった作品もすばらしい。かざされたシルバーの剣は重量感がみなぎっている。西洋文化と日本文化の融合が傑作をつくりだした。

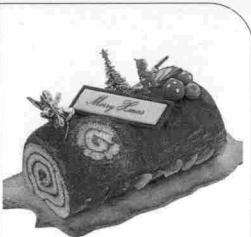
最後に比屋根社長は夢を話してくれた。

「阪神間に、スイス村をイメージさせる“エーデルワイスピレッジ”をつくつてみても面白いですね。そこへ行けば、焼き立てのパンやケーキ、フレッシュなチヨコレートを味わうことができ、レストランまである。自然に包まれた工房なら、スタッフの創作意欲もわくでしょう。雄大な自然を残す石垣島で生まれ育つたことが、お菓子づくり、会社づくりに生かされてい

家族揃って過ごすイブの夜
心あたたまる今宵のクリスマス



冬のファンタジア
5,000円



森の中のぐるぐる
ノエル 2,800円



生クリーム仕上6号
3,500円



ボストンクリームパイ
2,500円



株式会社 **フーハイム・コンフェクト**

本社 〒651-21 神戸市西区北別府2-1-2
TEL078-974-9756 FAX078-974-9758
プライダルギフト 〒558 大阪市住吉区刈田町7-12-19
事業部・大阪 TEL06-697-9435 FAX06-697-4188
グランドール 神戸市中央区熊内町1丁目8-23
熊内店 TEL078-231-1428
さんちか店 三宮さんちかスィーツタウン内
TEL078391-3558



ママといっしょに



赤ちゃん：植山天志朗ちゃん（平成9年4月25日生まれ）

ママ：治美さん

「産まれてもうすぐ2ヶ月。

ママの母乳ですくすく育っています！」

★佐本産科・婦人科★
佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
TEL:078-575-1024 (病室TEL:078-577-7034)

市バス上沢4停南スク
●駐車場完備●

冬の陽

由良 佐知子

絵／石阪 春生

冬

朝陽はまっすぐに届く

台所の壁のいちまいの絵に向かって

ヤン・フェルメールの複製画

「牛乳を注ぐ女」のうえに

陽は想いだしている

オランダの片田舎の明かり窓から

若い夫人のまるい額と胸を

やわらかく照らした日のことを

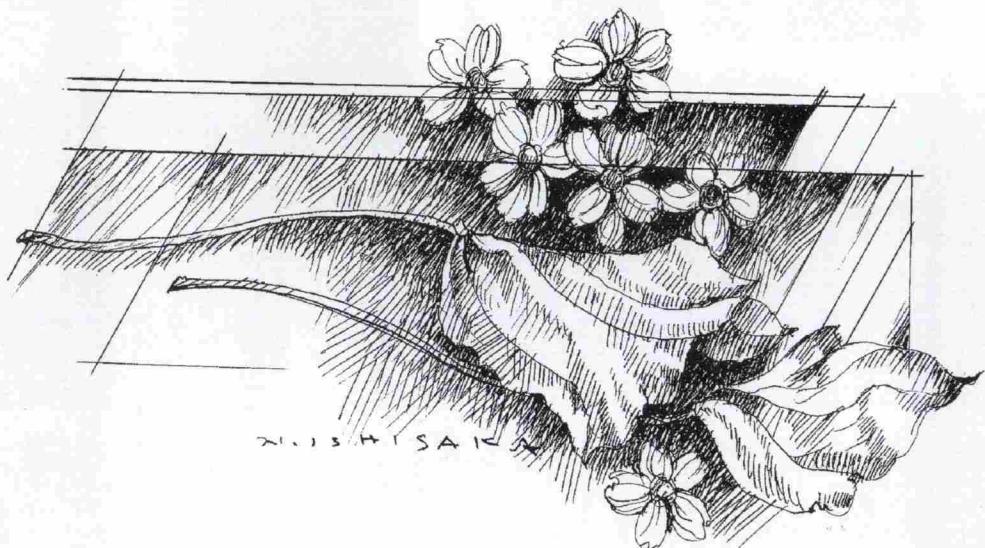
遮らないで

陽はあたため続いている

素焼の壺から注がれる牛乳を

待つているこどもがいる

今もどこかで



■私の意見

神戸の一年を振り返つて

加藤 譲

〈読売新聞神戸総局長〉



「忘れんといて神戸」。今年の賀状に、そう書いた。「復興元年」とも。復旧から復興へ。震災報道は三年目にに入った。震災は続いている。温度差がある。「いま」を、実相を、粘り強く発信していかねばならない。その元年の復興ぶりはどうだったのか。港は全面復旧したが、経済は八割のまま低迷している。復興格差も生じてきた。市内外にまだ約二万世帯が仮設住宅に残る。恒久住宅への移行が最大課題。被災者の生活再建や雇用、医療、心のケアをはじめ、街づくり、産業復興など、課題は山積している。

そんな中、追い打ちともいえる事件が続いた。須磨の小学生連続殺傷。その反社会性に驚き、少年の犯行とわかつてさらに衝撃を受けた。もうい現代社会を反映、だれもが当事者になりうるとしてか、全国を震撼させた。事件を機に、家庭、学校、地域、社会で、「子供」「教育」などについて、改めて考えることを始めたのが救いだ。それぞれの取り組みを伝えていかねばならない。

一般市民が犠牲になつた宅見組長射殺事件。わが国最大の暴力団組織の本拠があることを再認識させた。震災は「防災」を、事件は「防犯」を、市民が安全で安心に暮らせる街づくりの大切さを気づかせてくれた。暗い話題が多かつた。オリックス・ブルーウェーブがパ・リーグの優勝を逃し、ヴィッセル神戸は最下位。景気も一向に上向かない。重苦しい気持ちを引きずつたままだ。街に、人に、元気がない。震災で疲れている。国がまともに支援してくれないことへの苦立ちもあるだろう。

来年の賀状を準備する季節となり、欠礼の挨拶状を印刷した。私の、重苦しい原因の一つは、一月の母の死。今年は有馬温泉に連れて行こうと思つていた。さて、元気をださねばと思う。灘を舞台にした「甘辛しやん」が好調だ。来春には明石海峡大橋も開通する。元々が、明るい陽性の町。明日の神戸へ向けて、行政の力量とともに、市民の意欲、自由な活動に期待したい。

STEP GLOBALLY STEP NATURALLY

地球を歩く

自然に歩く

STEP COMFORTABLY

快適に歩く



Japan's Premier Health-Shoe Specialist
高級健康靴と関連資材輸入・機材輸入

アリス

〒650 神戸市中央区北長狭通り5-6-6
TEL:078-382-2101 FAX:078-382-2150
営業時間:10:30a.m.~6:30p.m.年中無休



「健康な足を健康に保ち、傷んだ足をいたわることを基本理念に、株式会社アリスは、日本で初めてドイツの整形外科靴マイスターを招聘し、健康靴に関するトータルなサービスを提供しています。健康な足を健康に維持されたい方も、足に悩みをお持ちの方も、最新の整形外科水準に基づいて作られ、ドイツから直輸入の健康靴をぜひお試しください。」



株式会社アリス 代表取締役
アリス・クリスチャンス

酔眼流旅日記 第18回

紅テント九州篇

(その一)

村松 友視 〔作家〕

博多というのは、私の好きな街のひとつだ。博多と福岡のあいだに中洲があつて……とか、細かいことはよく分らない。とにかく、九州の中で飛び抜けた都会であるあの街の、やけに気分のよい空気が好きなのだ。屋台のみを求めて行つたこともあつたが、今はもっと大きくとらえて、あの街にいる人間の味が好きだというふうになつてゐる。大都会でありますから、心地よいローカルのテイストが流れていて、それが魅力となつてゐるのだから、鬼に金棒みたいたい感じだ。

いちばん最初に福岡、博多を訪れたのは何のときだつたか、それは忘れてしまつた。だが、初めて福岡空港へ降り立つたのは、田川のボタ山に紅テントを張つた、唐十郎率いるところの状況劇場の公演を見に行つたときだつた。あのとき、私は福岡空港で降りて飛行場の中で鮪を食べ、そこから田川へ向つたのだから、福岡、博多の街は知らずじまいだつた。

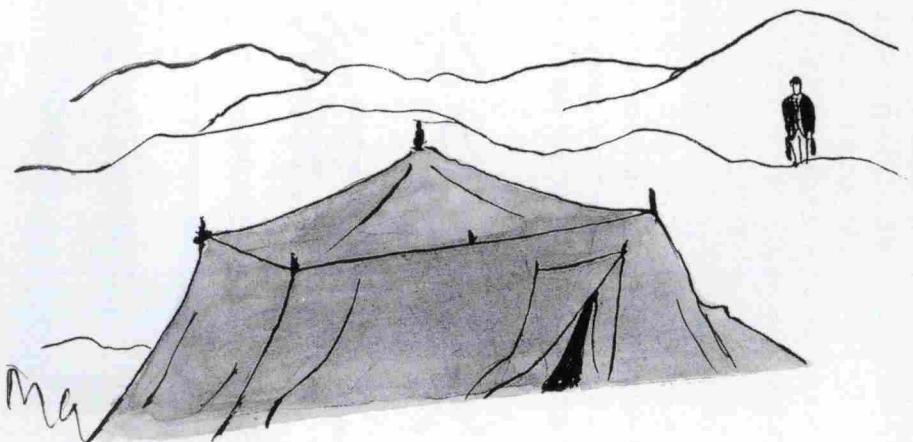
私は、その頃は中央公社につとめ、文芸誌「海」の編集部に籍をおいていて、唐十郎さんの担当者だつた。田川のボタ山に紅テントを張るという唐さんの計画を知つた私は、ひとつ唐さんや状況劇場の面々をおどろかしてやろうと思ひ、芝居をやる前日に田川の宿へ入つた。もち

ろん、唐さんたちにはいつさい内緒だつた。

前日にテントを張つたことは、電車からボタ山をながめて分つた。田川駅へ到着する直前、ボタ山に紅テントが張られているのを見たときは、ちょっと感動的だつた。復帰前の沖縄、ブラジル、韓国、バングラディシュ、パレスチナにも紅テントを張つた状況劇場の戦略のターゲットが、そのときは田川のボタ山だつたのだ。公演する芝居は「蛇姫様」、クマさんこと篠原勝之描くところのボスターも氣分満点で、青山墓地の近くや夢の島などでの公演は見ていたから、田川のボタ山での芝居がどんな色に染まるのか……私は、大いに楽しみだつた。

翌日、おそらく状況劇場の面々は、午後三時くらいに宿から紅テントへやつて来るだろうと、私は踏んでいた。そこで、私は酒屋で日本酒を二本買い、それを持って二時半頃ボタ山へ向つた。紅テントを張つたあたりへ行つてみると、まだ状況劇場の役者たちの姿は見えなかつた。しめしめとばかり、私は紅テントが張られたところから、さらに上にあるボタ山へ登つて行つた。紅テントを張つたあたりへ行つてみると、すぐ下に紅テントが見えた。ここに一本の日本酒をぶら下げる突つ立つてい

カット／灘本唯人
題字／筆者



れば、下からやつてきた状況劇場の連中は、いやでも私の姿に気づくことになる。私は、ほんと日活映画『渡り鳥シリーズ』における小林旭の気分になつて、やつて来る役者たちを待ち受けたものだつた。そのとき手にした日本酒は、最も日本酒らしい日本酒というので、菊正宗を選んでいたはずだ。

ところが、二時を過ぎても役者がやつて来ない。芝居は六時頃からだが……私は、首をかしげながら空をふり仰いだ。すると、目に冷たい感触があつた。雨が落ちてきたのだつた。

目に冷たい感触ぐらいのときはよかつたが、雨足がけつこう強くなり、私の足もとがおぼつかなくなつた。私は、仕方なくいつたんそこの降りことにしたが、両手に日本酒を持つてから、何となく頼りない姿勢になつて、用心深く下へ降りて行つた。そして、紅テントの脇まで降りたとき、

「あれムラマツさん、何やつてるんですか……」最初にボタ山を登つて来た根津甚八に声をかけられた。私は、「いや、つい通りかかつたものだから……」とも言えず、何か言い訳めいたセリフを吐いたにちがいない。

その日の公演は、伝説的な暴風雨の中でのテント芝居となつたのであり、ボタ山の上で小林旭を演じようとする私の目論みが、見事に吹き飛ばされたのは、まことに当然のなりゆきであります。

（むらまつ・ともみ）一九四〇年東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒。六三年中央公論社に入社。「小説中央公論」「婦人公論」「海」編集部員を経て、八一年退社。八二年「時代屋の女房」で直木賞受賞。主な著書は「私、プロレスの味方です」「アブサン物語」「トニー谷、ざんす」「鎌倉のおばさん」など。

